



小磯良平『二人の少女』1946 本館蔵

■交通

JR住吉駅・阪神魚崎駅のりかえ、
六甲ライナー「アイランド北口」駅下車 西へ徒歩すぐ
(美術館の地下に有料の市営駐車場があります)

■休館日

月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

■開館時間

午前10時～午後5時(金曜日は午後6時まで)
入館は閉館の30分前まで

■入館料

車()内は30名以上の団体
[大人] 800円(600円) [高大生] 600円(400円)
[小中生] 400円(200円)

神戸市老人福祉手帳(すこやかカード)持参の方400円
のびのびパスポート持参の方無料

◇10月3日(金)のKOBÉ観光の日に入館料無料

主催:神戸市立小磯記念美術館 後援:NHK神戸放送局

同時開催 ■展示室 1 ■

小磯良平 作品選IV

- 油彩・素描 -



小磯良平『三人の女』1917 千原市立美術館蔵



いよさきの子 夫人ばばを待つ少女 1973
10/4美術館蔵 9/8東京のゆかり



小磯良平『子』1943 京都府美術館蔵

■展示室2.3 ■ 特別展 小磯良平没後20年記念

子どもがいる風景

—— 小磯良平『二人の少女』から ——

2008. 9月6日(土) ▶ 11月16日(日)

※作品の一部を展示替えいたします。 前期:10月5日まで 後期:10月7日から

神戸市立小磯記念美術館 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7
TEL (078)857-5880
http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/kaiso_museum/



小磯良平『いよさきの子』1907 宮内庁正の丸美術館蔵 9/11神戸のゆかり



いよさきの子 読書 1923 東京府立美術館蔵



いよさきの子 奏 1897 東京府立美術館蔵

子どものいる風景 — 小磯良平「二人の少女」から —

当館は、小磯良平(1903-1988)の没後、アトリエに保管されていた作品の寄贈をもとに、1992年に開館しました。開館当初のコレクションにおける油彩画の特色は、抽象絵画を意図した実験的な作品が多くあったことと、戦後すぐの時期に、家族をモデルとして描いた、類例の少ない作品が含まれていたことでした。その中で、子どもから大人まで多くの人々に愛されてきた作品に「二人の少女」があります。

「二人の少女」は、1945年の神戸空襲で、自宅とアトリエを失った小磯が、家族とともに神戸市内を転々と仮住まいしていた中、自らの子ども達をモデルに描いたものです。言葉少ない小磯でしたが、この作品については「よくできた」と誇っていたと伝えられています。二人の子ども達は、祖母の手編みのお揃いのカーディガンに、母の手縫いのスカートを着身につけており、彼女たちに対する家族のあたたかい愛情がこの作品から伝わってきます。

そしてまた、小磯に限らず、多くの画家達が様々な子どもの姿を表現してきました。それらの作品からは、時代背景、社会環境や風俗、また、大人が子どもをどのような存在として見ていたかなど、多くのことがらを知ることができます。

本展は、小磯良平の「二人の少女」を中心として、日本が近代化の波に乗り始めた明治の頃から現在までに制作された、日本の子ども達を主題とした作品等を紹介するものです。

表現された子ども達の姿を、美術作品として鑑賞するのみならず、「子ども」という存在そのものに思いを巡らせていただくなど、自由な視点からお楽しみいただければと考えます。



小磯良平画 1941 名古屋市美術館蔵



飯沼好行 主人公 1923 高松県立博物館蔵
©S-S-O-T-A-N 印刷権のみ権利



小磯良平画 1941 名古屋市美術館蔵



北川辰次 山手と母子 1946 名古屋市美術館蔵



伊谷真英 緑蔭歌姫図 1960 京都市美術館蔵



神戸市立小磯記念美術館
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7
TEL.(078)857-5880

■交通 近江宮駅、阪神海岸線のりから
六甲ライナー(アイランド21)下車徒歩すぐ

会期中のイベント

講演会

10月5日(日) 午後2時～3時30分
※定員80名(満10時から整理券を配布します。)
「子どもが描かれる時」
講師:本田利子氏(法政の女子大学名誉教授)
※平成20年文化庁芸術祭優秀展受賞

解説会

毎月開催日(10月5日を除く)
午後2時から(約30分) 2階絵画学習室にて
学芸員が展覧会の良どころや作品について解説します。

アトリエ解説

展覧日の午前11時と午後2時から (約20分)。
インフォメーションスタッフによる案内
※イベント開催時は時を変更します。

ロビーコンサート

9月27日(土) 午後2時から、神戸市室内合奏団による演奏。

スペシャル・プログラム「絵の中の〜?」

対象:小学1年生～中学3年生 ※平成20年度文化庁芸術祭優秀展受賞
●9月13日(土) 着のりが着るの、つくってみよう
●9月20日(土)・21日(日) おいしいお菓子
●10月4日(土) 生花の押染
●11月8日(土) どんと着がきこえてくる?

近隣の美術館のご案内

神戸ファッション美術館

TEL.078-858-0050
※入館料(中学生以下)は無料です。
「ファッション・ミュージアム・センター」
長寿・芸術・ファッション
「チャイナドレスの宝庫」
2008年7月1日(土)～10月7日(木)
休館日:毎週木曜日

「子どものいる風景」

～自然体験家・伊豆原晴美の仕事～(約90分)
2008年10月18日(土)～11月13日(火)
休館日:毎週水曜日、年末年始

神戸港からの美術館

神戸ファッション美術館1F

TEL.078-858-1520

※入館料(中学生以下)は無料です。

特別展示
「神戸心切り」美術展 コレクション展
「人、人、人、人、人、人、人、人」
神戸心切りの芸術家たちと神戸風景
2008年9月23日(土)～11月30日(日)
休館日:毎週水曜日

神戸ファッション美術館1F